

H21年8月1日

東北カーリングブロック協議会議事録

日 時 平成21年8月1日
場 所 二戸駅ビルなにやーと会議室

1 出席役員

岩手県 浪岡正行（会長）
 新毛國信（副会長）
 内沢真申（理事長）
山形県 高橋俊明（事務局長）
宮城県 金 直樹（副会長）
福島県 斎 嘉之（理事）
青森県 中島 潤（理事・アイスメイク部長）
 石田順一（理事・競技委員長）

2 案件（主な検討事項）

（1）東北カーリング選手権大会について

今までは各県均等に男子2チーム女子1チームで出場枠を割当てしてきたが、県別競技人口に大幅な差が出てきたため登録人数（前年度会員数）から割当てた参加枠で、今後の枠を設定する事が望ましいという説明があった。（他ブロックも登録人数割りで枠を設定している）各県協会代表者も新しい参加枠について理解を示し、25回大会より実施することにした。ただし、今年度は従来どおり各県2チームを基本枠とすることで合意した。

男子参加枠（12チーム）

◆第24回大会

各県2チームとし欠場の出た場合の開催地枠を撤廃し、登録人数の多い順に割当てる。

欠場の出た場合の割当順：青森・岩手・秋田・宮城・山形・福島

◆第25回大会

青森3・岩手2・秋田1・山形1・宮城1・福島1・優勝1・準優勝1・第3位1
※新しく前年度優勝・準優勝・第3位枠を設ける、対象となるチームが出場できない場合はチーム所属県が出場枠を獲得する。

ただし、県単位出場限度数は4チームとし、限度を超えた場合順位を繰り下げる。

女子参加枠（8チーム）

◆第24回大会

女子競技人口が増加したため参加数を8チームとし登録人数の多い青森・岩手に割当てることとした。

8チーム枠：青森2・岩手2・秋田1・山形1・宮城1・福島1
欠場の出た場合の割当順：青森・岩手・秋田・宮城・山形・福島

◆第25回大会

青森2・岩手1・秋田1・山形1・宮城1・福島1・優勝1

(ただし、県単位出場限度数は3チームとし、限度を超えた場合順位を繰り下げる)

日 程・アイスメイク

2月5日・6日・7日

公式練習を各シート5分(20分)行ない、その後ドロースhootを行う。
アイスメイクについては、日本選手権の東北ブロック選考会となるため8エンドゲーム2試合ごとにアイスキングを入れることとした。その他は、ペブル・ニッパーで仕上げる。

競技方法

男子予選リーグ 3チーム4ブロック 各ブロック2チーム決勝トーナメント

女子予選リーグ 4チーム2ブロック 各ブロック2チーム決勝トーナメント

予選リーグの順位は勝試合数順とし、三つ巴の場合には公式練習後に行う1チーム4名1投ずつのドロースhootによる合計距離の短い順とする。

(日程の関係でタイブレーク戦は行わない)

5位6位決定戦を6エンドで行う。?

(2) 東北ミックスダブルスカーリング選手権大会について

各県2チームとし欠場の出た場合の開催地枠を撤廃し、登録人数の多い順に割当てる。

欠場の出た場合の割当順：青森・岩手・秋田・宮城・山形・福島

タイブレークが無かった場合はアイスキングを決勝前に入れることにした。

(3) 日本ジュニア東北トライアルについて

東北ブロックのジュニアチーム数は少ないため、各県の出場枠を決めないで出場希望チームがあれば参加できるようにしたい、参加チームの申込調査を9月初旬に行う。

東北ブロックカーリング協議会について

東北ブロックカーリング協議会を設立することで一致した。規約案は西日本の規約を参考に岩手県協会で作成し各県で検討することになった。